

生物の科学 遺伝(※)

いきもの

いのち

「生物」を知って「生命」を守る

創刊70周年『生物の科学 遺伝』がリニューアル

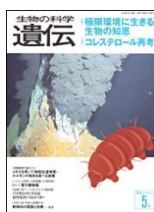
2016年から最新号を冊子と同時に配信開始(隔月刊行)!!

各号 同時1アクセス 3,600円(本体)

同時3アクセス 5,300円(本体)

『生物の科学 遺伝』が2016年にリニューアルしました。「生物」の知識は多くの分野と関わっており、人間の生活や環境にまでつながっています。執筆者にはこのことを念頭に、最先端の話題をご提供いただきます。サイエンスの世界だけでなく、実学の話題にも触れていただき、生物、生命についていろいろな角度から議論できればと考えております。タイムリーな特集企画にご期待ください。

※著作の都合上、ダウンロード・印刷不可となります。



2016年5月号

特集は「極限環境に生きる生物の知恵」と「コレステロール再考」。特集1では、深海、地底、南極・北極、砂漠、高山・火山などの極限環境の生きものを紹介する。近年の「オミックス」により、その生物学的な特性をかいま見ることができるようになってきた。特集2では、口から摂取する食物中のコレステロール量と血清コレステロール濃度との関係について最新の知見を紹介する。



2016年3月号

特集は「真核細胞の共生由来オルガネラ研究最前線」。細胞内共生体のオルガネラ(小器官)化は、真核生物進化の中で重要なターニングポイントである。共生体由来オルガネラの起源と多様性から、細菌、藻類、植物などにおける共生進化について紹介する。



2016年1月号

特集は「生態系を観る、測る、守る」。どのような手法で生物多様性や生態系のモニタリングがされ、そこで得られた情報からどのようなことがわかってきたか、そしてそれに対して私たちは何をしていくべきなのか、などをいくつかの代表的な生態系(バイオーム)について説明しそれぞれの生態系の特徴に関しての理解を深める。

※ 表示価格は税抜きです。

【単行本】



実践有用微生物培養のイロハ

—試験管から工業スケールまで—

発行日 2014年6月

同時1アクセス 19,800円

同時3アクセス 29,700円

微生物の培養について体系的にまとめた本。微生物培養の基本操作、培養の状態を観察・測定する方法、菌株の入手・保存方法、培養とものづくりを効率よく行うための理論、培養の実際などを解説する。



進化する食品テクスチャー研究

発行日 2011年12月

同時1アクセス 83,600円

同時3アクセス 125,400円

おいしさの重要要素であり、また咀嚼による歯の働きに深く関係し、顔の形や健康を支配するテクスチャー。レオロジーとその測定、咀嚼と嚥下など、テクスチャー研究の成果をまとめる。

【雑誌】



未来材料 2012年(Vol.12)~2013年(Vol.13)

各号

同時1アクセス 8,400円

同時3アクセス 12,600円

●異分野との接点から研究に役立つ発達のヒントが。

新材料の用途が多岐にわたる現在、研究・開発のヒントとして大いに役立つのが異業種、異分野領域との交流です。そうしたニーズに応えるべく、『未来材料』では既存の分野別専門誌のカテゴリーを超え、広い視野で“材料”とかかわる場を紹介していきます。

●厳選したテーマ・執筆陣による充実の解説が毎月6報！

さまざまな材料分野の第一線で活躍中の本誌編集委員。こうしたエキスパートたちが、自信を持ってお薦めするテーマ、執筆陣で号を重ねていくのが強みです。新材料の用途提案、多機能性への注目、問題点の打開策など、未来社会を創造するための知りたい情報が満載です。

●話題満載の各企画は蓄積するほど実用面で活きます。

材料に関するホットな情報をさまざまな切り口で紹介いたします。一過的な情報ソースとしてではなく、保存価値の高い後々に役立つ内容を目指しております。また、個々の専門分野以外の読者にも十分理解が及ぶよう、各解説記事にはキーワードとなる用語の解説を付しました。「先端的研究と産業応用の両立」と異分野融合を目指します。



※ 表示価格は税抜きです。